

第52回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール

JAPAN PRIZE 2025

会 期：2025年11月17日（月）～20日（木）

会 場：WITH HARAJUKU HALL

主 催：日本放送協会

対 象：国内外を問わず、教育および教育コンテンツに関心のあるすべての人々

公式サイト URL：https://www.nhk.or.jp/jp-prize/

総来場者数（参加数）：772人（リアル参加のみの数）

■開催内容

NHKが主催する、教育をテーマにした映像コンテンツの国際コンクール「日本賞」。第52回目を迎えた今回は、11月17日（月）～20日（木）に「日本賞映像祭」を東京・原宿のWITH HARAJUKU HALLで開催。イベントのオンデマンド配信も行った。また、最優秀賞・優秀賞などのコンクールの結果の一部を事前に発表して海外から受賞者を招聘。36の国と地域から64名の参加があった。国内からも番組制作者をはじめ、教育コンテンツに関心を持つ人が多く参加した。会場でのリアル参加者が772名、オンデマンド配信でのイベント・作品の視聴数も延べ1,305回とよく見られた。

今年の「日本賞映像祭」の軸となったのは、「上映会＆ディスカッション」。各部門最優秀賞および優秀賞作品を上映の後、参加者同士でディスカッションを行い、続けて受賞作品の制作者と審査委員が登壇。制作者は作品が生まれたきっかけや制作秘話を語り、審査委員は作品の評価ポイントなどについてコメントした。さらに登壇者と参加者のインタラクションを活発にするため、NHKの放送でも使用している投稿システムを活用し、議論が大いに盛り上がった。こうした結果、イベント参加者の満足度が97.4%と非常に高いレベルにまで達した。

また、予算・機材など制作条件が十分でない国・地域での教育コンテンツの企画の実現を支援する「企画部門」では、会期中の17日に、インドやブラジルなどから一次審査を通過した6名が、自分たちの企画に関するプレゼンテーションを行った。

最終日の20日には授賞式が行われ、秋篠宮皇嗣妃殿下にご臨席賜り、各部門最優秀賞4作品の中から選ばれた「グランプリ日本賞」と企画部門の最優秀賞と優秀賞が発表された。最高賞である「グランプリ日本賞」には、エジプト南部の村で少女たちが演劇を通して反骨精神を表現しようと取り組む姿を4年間にわたって撮影した「夢と運命の境界で エジプト 少女たちの岐路」が選ばれた。

■2025年度の新規取り組みとその成果・特色など

開催内容でも触れたとおり、2025年度の特徴は、双方向性を高めるため、NHKが放送でも使用している投稿システムを利用したことである。英語が苦手な日本人参加者も携帯電話の翻訳アプリなどを活用するなど、会場の多くの人がこのシステムにより、自分の意見や質問をステージ上のコンテンツ制作者に届けることができた。こうした取り組みにより、登壇者との距離が縮まることで議論が活発化し、満足度向上に大きく寄与したと考えられる。

